

## 世界一かわいいわたしの妹

おおが い さくら こ  
大貝 桜子

「ねえねといっしょがいい。」「ねえねといっしょにいく。」これがわたしの妹の口ぐせです。いつもわたしは、「だめだめ。いっしょだったらおもしろくないでえ。」と言っても、ぜったいにくつついてきて、「ねえねがいーいー。」となくので、さいごは「あーしょうがないなあー」とわたしがあきらめてがまんします。かわいいけど、いつも妹が強いのでまけてしまいます。

いっしょにされるといやなことがいっぱいあります。たとえば、アイスクリームです。同じあじのアイスにされると、あじが交かんできなくなるからちよつとそんな感じになります。わたしがいんびつや消しゴムをかってもらっている、妹も、ねえねと同じがいいといって、まだ家にたくさんあるのに買ってもらおうとします。ずるいなと思います。

でも、わたしは一緒によかったなともあります。この前、おそろいのワンピースを買ったときに、知らないおばあちゃんが「おそろいでかわいいね。」と言ってくれて、うれしくなりました。妹がいてよかったなと思いました。「いっしょがいい。」と言われていることになることもいっぱいあるけど、いっしょにおしゃれをできるのはうれしいです。

「なんでねえねといっしょがいいっていつも言うん。」と妹に聞いてみると、「だってねえねがだいすきやもん。」とにこにこして言ってくれたのでうれしくなってきたよーとだっこ

しました。妹はケラケラわらって顔をばちんとたたいてきました。その後、二人でじゃれ合って遊びました。こうやっていつも遊んでいます。さいごにけんかになるけど。

一年前、妹が三才の時、妹が病気になるって入院したことがあります。学校にお母さんがむかえに来てくれた時に妹はいなくて、「どこに行ったん。」と聞いたらお母さんが、「わるいきんが入って入いんすることになったんよ。」と言いました。妹はときどきかぜをひくけどいつも元気なのでびっくりして、いつなのおのかともしんばいになりました。十日くらいでよくなつて帰ってきたけど、妹が入いんしている間、わたしはずつとおばあちゃん家でごはんを食べて、お父さんとねて、なんだかいつもより家がしずかでさみしかったです。へんなかんじがしました。かざってあった妹の写真を見てないでしまいました。

もう妹が入いんするのはいやです。わたしの世界一、いちばんかわいい大事なたからものです。わたしといっしょがいいと言ったら、「いいよ。」とすぐに言っただけよと思えます。これからもいっしょにおそろいのものを食べたり、おそろいのふくを着たりしようね。きこちゃん大すき。いつもいっしょにいてくれてありがとう。